

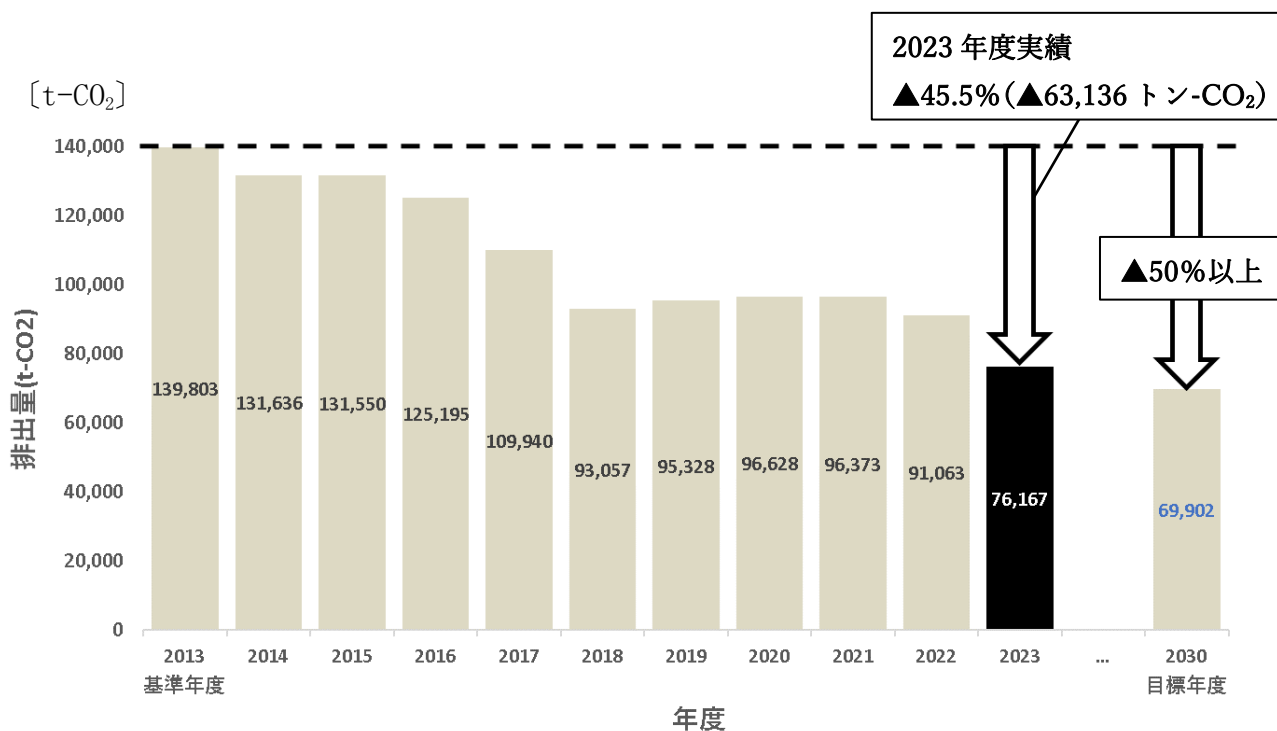
2023年度の排出量は2013年度比45.5%減 ～京都府の2023年度温室効果ガス排出量について～

- 京都府庁では「府庁の省エネ・創エネ実行プラン（第2期）」に基づき、温室効果ガスの排出量を2030年度までに2013年度比で50%以上削減することを目標としています。
- 2023年度の排出量は76,167トンであり、前年度比で16.4%減、2013年度比で45.5%減となりました。今後も早期達成に向け取り組んでまいります。

1 京都府庁からの温室効果ガスの排出量

[単位：t-CO₂]

	2013年度 (基準年度総排出量)	2022年度 (前年度)	2023年度 (報告年度)	増減	
				基準年度比	前年度比
温室効果ガス 排出量	139,803	91,063	76,167	▲45.5%	▲16.4%



温室効果ガスの排出量の推移

温室効果ガス排出量の内訳

[単位：t-CO₂]

施設種別	2022年度	2023年度		
	排出量	排出量	前年度比較	
			増減量	増減率
本庁舎 広域振興局	6,809	6,764	▲45	▲1%
上水・下水	31,514	24,899	▲6,615	▲21%
府立学校 警察本部・警察署	27,601	23,941	▲3,660	▲13%
指定管理等施設 ¹ その他施設 ²	25,139	20,563	▲4,576	▲18%
合計	91,063	76,167	▲14,896	▲16%

2 温室効果ガス排出量の主な増減要因

(1) 各施設における主な増減要因

本庁舎・広域振興局・指定管理等施設・その他施設

新型コロナウイルス終息に伴う対応業務終了やワクチン会場等設備の稼働減少
上水・下水

燃料から電気へのエネルギー転換による減少

府立学校・警察本部・警察署

照明や信号機のLED化、空調設備の更新による減少

(2) 電気のCO₂排出係数³による影響

エネルギー消費に伴う温室効果ガス排出量のうち、約7割は電力の消費によることから、電気のCO₂排出係数の変動は、温室効果ガス排出量に大きく影響します。

2023年度の電気のCO₂排出係数(加重平均値)は0.297kg-CO₂/kWhであり、前年度の0.349kg-CO₂/kWhから、約15%減少しました。

電気のCO₂排出係数(加重平均)

[単位：kg-CO₂/kWh]

	2022年度	2023年度
電気のCO ₂ 排出係数 (加重平均値)	0.349	0.297

¹ 「指定管理等施設」：京都府府民総合交流プラザ、けいはんなオープンイノベーションセンター、山城総合運動公園、京都文化博物館、京都府立京都学・歴史館など。

² 「その他施設」：洛南病院、京都府立植物園、保健環境研究所、京都府警察学校、中小企業技術センター本所など。

³ 電気のCO₂排出係数は、1kWhを発電する際に排出される二酸化炭素(CO₂)量を示す数値(電気消費によるCO₂排出量 = 電気消費量 × CO₂排出係数)

3 今後の主な取組予定

- ・ 2028年度までに信号機のLED化を完了
- ・ エネルギー消費量の多い施設（下水道）を中心に設備更新等を実施
- ・ 建物等の付属設備（照明器具等）の更新
- ・ 新築や建替予定の建物についてZEB化等を実施

4 参考

2023年度のエネルギー消費量は、前年度比で13.1%減少。

エネルギー消費量の内訳

[単位：GJ]

	本庁舎 広域振興局	上水・下水	府立学校 警察本部 警察署	指定管理等施 設 その他施設	合計
2022年度	110,906	748,202	554,985	572,209	1,986,302
2023年度	104,181	647,645	481,224	493,956	1,727,006
増 減	▲6,725	▲100,556	▲73,761	▲78,253	▲259,296
	▲6.1%	▲13.4%	▲13.3%	▲13.7%	▲13.1%

注：四捨五入の関係で、各欄の値の合計と合計欄の値が一致しない場合がある。